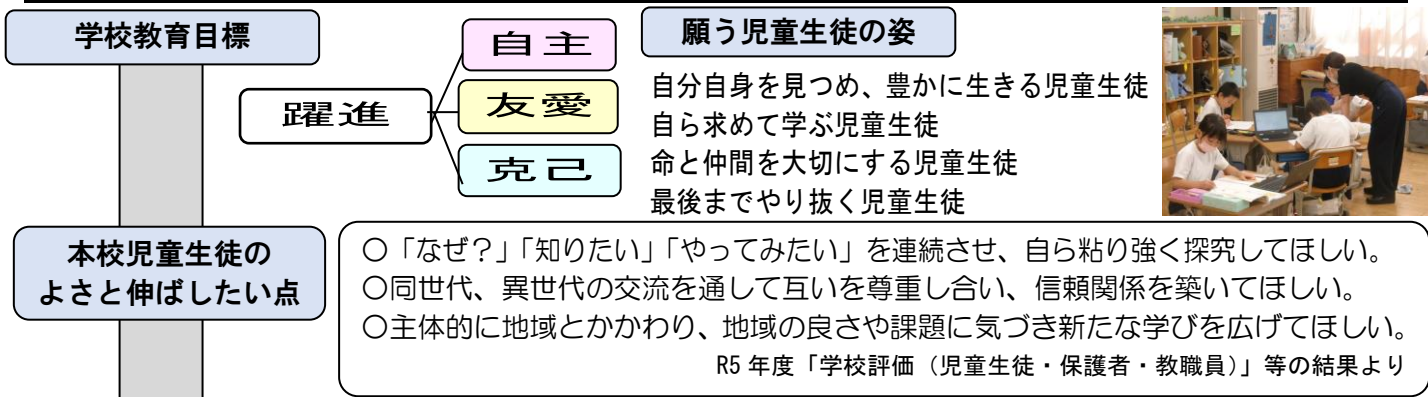


4 令和6年度 信濃町立信濃小中学校 グランドデザイン

日本国憲法・教育基本法・学校教育法・学習指導要領・長野県教育振興基本計画（第4次）・信濃町長期振興計画（第6次）

（第2次信濃町教育大綱 基本理念） 未来を拓く深い豊かな学びの創造

（基本理念）「信濃町に誇りを持ち、次代を担う人材の育成」～学びに向かう力と温かな人間性の涵養～



重点目標 : **また明日も来たくなる学校（楽校）づくり**
～問い・聴き・語る児童生徒の姿を求めて～

重点活動とつける力

「問い」から始まる授業

授業づくりや職員研修を充実させ、児童生徒一人ひとりが自ら問いを発し、考え、解決に向けて探究する力を身につけていくようにします。

1 「なぜ?」を「わかった」「できた」につなぐ授業

- ・指導内容に即し、児童生徒の問いを大切に「探究的な学び」を充実させます。
- ・個別最適な学び、協働的な学びを通して、学ぶことが楽しいと実感できる授業を作ります。

2 一人ひとりの学びをつなぐ学習過程の創造

- ・義務教育学校の特色を生かした9年間の系統的な学習過程を再構築していきます。
- ・主体的に取り組む家庭学習のあり方を工夫します。

<探究する力>

「聴く」対話的關係づくり

様々な事情から異なる見方や考え方をもつ仲間と共に生活していくため、互いの声を聴き、受け止め、信頼関係を築く活動の充実を図ります。

1 学年の「壁」を越える異学年交流活動

- ・児童生徒が中心となって異学年や縦割り集団による活動の企画・運営を支えます。
- ・互いに認め合い、自己効力感が育つ特別活動（異学年・同学年活動）を促進します。

2 子どもが願いを実現する時間と場づくり

- ・子どもたちの声に耳を傾け、魅力ある学校づくりを共に進めます。
- ・児童生徒理解に努め、教育的ニーズに応じた支援体制、相談窓口を整備します。

<聴く力>

未来を「語り」参画する活動

社会の変化や状況に応じて最適な方法を考え、創り出し、人々の温かなつながりが感じながら故郷への思いを語り、貢献できる児童生徒を育てます。

1 人の温かさを感じ、地域と共に歩む活動

- ・「ふるさと学習」を基盤に、地域と共同参画型の活動を推進します。
- ・保護者や地域、「しなの学校応援団」と連携し、「自律の力を育む時間」を効果的に運用します。

2 地域とつながり、未来を拓く活動

- ・信濃町の未来を担う一員として、地域の方と町づくりについて深く学び、考える機会を作ります。

<創造する力>

地域の支え 「学校運営協議会」「しなの学校応援団」「PTA」「しなのホエールズ」

授業支援 行事支援 児童生徒会支援 読書活動支援 部活動・クラブ活動支援 登下校指導支援 環境づくり支援 等



グランドデザイン 評価の観点

学校自己評価における以下の項目で、肯定的に回答する児童生徒の割合を増やします。

1 「信濃小中学校での生活は楽しいと感じている」	(R5 88%)
2 「誰にでも気持ちのよいあいさつができています」	(R5 86%)
3 「自分のクラスは、いじめのない友達関係ができています」	(R5 85%)
4 「自分は、家庭学習をしっかりとできるようになっている」	(R5 87%)

*年2回の学校自己評価（7月 児童生徒・教職員が対象、12月 児童生徒・保護者・教職員が対象）を行います。その結果を教育課程編成プロジェクト、児童生徒会、学校運営協議会等で検証し、次年度の方向を決定していきます。